



阿知須小だより



よさが輝く学校～自分で考え行動する児童の育成～

地域とともにある学校～コミュニティ・スクール9年目～

令和2年11月26日 No.9

阿知須地域の子どもたちの健やかな成長は地域の願い

早いもので、来週には12月を迎えます。

さて、今年の5月、既に地域を通じて各家庭に届いているかと思いますが、「阿知須地域協育ネット協議会」では、阿知須で育てたい子ども像「ふるさと阿知須を愛し、将来地域で活躍する子ども」を掲げ、「7つのゆめのたね」と「地域連携カリキュラム」を作成し、配付しました。

この度、地域づくり協議会の御支援により、右にあるような掲示用のポスターを作成していただきました。このポスターは、各教室はもちろん、地域の公会堂や商業施設等にも貼っていただきます。

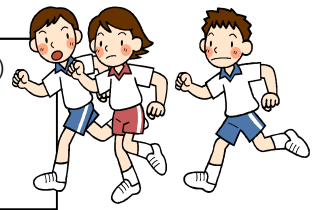
先日、子どもたちに、「7つのゆめのたね」を紹介しながら、こんな子どもになってほしいという地域の方々の願い、阿知須小学校は保護者や地域の方々に支援していただきながら教育活動を進めているコミュニティ・スクールであること、地域の方への感謝の気持ちをもつこと、感謝の気持ちを表す方法として地域での挨拶が大切なことなどの話をしました。（裏面に話の内容を載せています。）

学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの学びや育ちを支援するため、まずは、「子どもたちをその気にさせる周りの大人の働き掛け」が重要だと言われています。今後も、子どもたちへの積極的な声掛けをお願いします。



12月の主な行事

1日(火)	持久走記録会	23日(水)	個人懇談会(2日目)
3日(木)	持久走記録会予備日	24日(木)	終業式、給食終了
7日(月)	集金日	25日(金)	～冬季休業
22日(火)	個人懇談会(1日目)		



御礼

参観日では、地区割りによる授業参観に御協力をいただき、ありがとうございました。今後も、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じながら、教職員が知恵を出し合い、教育活動を進めていきますので、御理解と御協力をお願いします。



教育活動、ちょっと紹介！

全学年

10月27日に避難訓練を行いました。1年生は消防車の見学、6年生は消火器を使っての消火体験や、煙の中を歩く煙体験をしました。

～子どもたちへの話から～

阿知須小学校のある阿知須地区には、たくさんの方が住んでいます。皆さんや家の人はもちろんですが、それ以外の方もたくさん暮らしておられるのは皆さんも知っていますね。

皆さんは、阿知須地区に住んでいる多くの方に見守られ、助けていただきながら、地域で生活をし、学校で勉強や運動をしています。そのように、家の人と学校の先生、そして地域の方が協力し、皆さんを見守っている学校のことをコミュニティ・スクールと呼びます。阿知須小学校は、コミュニティ・スクールです。

今年は、コロナウイルスの影響で、多くの方に学校に来ていただくのは難しいのですが、どんな方にお世話になっているか、少し思い出してみましょう。きっと、上の学年の人は覚えているはずです。

1年生では、地域のお年寄りから、お手玉やメンコなどの昔の遊びを教えてくださいました。2年生では、町探検に出かけ、郵便局や阿知須交番の方から、いろいろなことを教えてくださいました。3年生では、ひなものの作り方を教えてくださいました。4年生では、社会福祉協議会の方に車椅子を準備していただき、車椅子体験をしました。

5年生では、ミシンボランティアの方から、ミシンの使い方を丁寧に教えてくださいました。また、先日は、地域の方が花の苗を持ってきて、園芸委員会の人と一緒に植えてくださいました。

そして、毎日お世話になっているのは、見守り隊の方々です。見守り隊の方は、雨の日も雪の日も、皆さんが安全に登下校できるよう、一緒に歩いてくださったり、横断歩道のところで見守ってくださったりしています。中には、下の学年と上の学年の下校に合わせ、何度も自分の家と学校を行き来して下さる見守り隊の方もおられます。見守り隊の方は、皆さんの安全を第一に考え、注意もして下さいます。見守り隊の方から注意されたことはしっかり守り、安全に登下校してください。

今、6年生が、下駄箱のところで、皆さんに挨拶を呼び掛けてくれています。「おはようございます」と声を掛けられているのに、黙って通り過ぎる人がいるのはとても残念です。コロナウイルス感染症が心配なので、マスクをしないで大声を出すことはできませんが、明るい声で気持ちのよい挨拶をすることや会釈はできるはずです。

皆さんの中には、先生と出会うと、必ず会釈をしてくれる人がたくさんいます。学校の中だけでなく、地域でも、挨拶ができる素敵な子どもになりましょう。

地域の方は、「挨拶ができる子どもになってほしいな」「友達と仲良く過ごせる子どもになってほしいな」「夢をもった子どもになってほしいな」など、こんな子どもになってほしいという願いをもって、いろいろなお世話をして下さっているのです。

「7つのゆめのたね」には、そのような地域の方、家の人、先生方の願いが詰まっており、「さわやかな挨拶をすること」「明るく思いやりをもつこと」「きちんと家庭学習をすること」「相手に自分の思いを伝えること」「黙って掃除をすること」「阿知須が好きになること」「夢に向け努力をすること」などが書かれています。

このポスターは、教室だけでなく、地域の方が集まる場所などにも貼ってもらいます。これから、そのような地域の方、家の人、先生方の願いをしっかり理解し、一人ひとりが自分で考えて行動しながら、成長していきましょう。

